

令和元年度 予算書・事業計画書

- 1.令和元年度予算書（9クラブ分）
- 2.令和元年度事業計画書（9クラブ分）

令和元年度 予算書・事業計画書

- 1.令和元年度予算書（9クラブ分）
- 2.令和元年度事業計画書（9クラブ分）

三条

S C 2 1

収支予算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(円)

1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	1,390,951	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 1,390,951 円)
クラブ積立金	611,978	※自主財源
会費	28,000	※自主財源
利息	18	※自主財源(基金通帳利息、クラブ通帳利息)
計	2,030,947	(左金額内の自主財源額 639,996円)

2 支出の部

(円)

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	250,000	管理備品購入、廃棄費(机、パイプ椅子)等
スポーツ用品購入費	40,000	ラインパウダー、スポーツ用品等
運営費	190,000	ラジオ体操、夏の夜のつどい、運動会等 ※自主財源(10,000円)を含む
事務・消耗品費	30,000	印刷用紙代、インク代等
分担金	1,000	スポーツ21連絡協議会年会費 ※自主財源
障害保険料	12,000	※自主財源
基金	890,951	
クラブ積立金	616,996	※自主財源
計	2,030,947	

三条スポーツクラブ21 令和元年度事業計画書

- 1 指定小学校区 芦屋市三条コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三条小学校区）
- 2 活動拠点クラブハウス設置場所 三条分室2階三条コミスク室
- 3 スポーツ活動を行う施設とその概要 山手中学校グラウンド・第2体育館
- 4 上記以外の他の連携した施設名 芦屋市立三条地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営委組織図

委員長	1名	役員会	推進委員会	運営委員会	総会
副委員長	2名				
会計	2名				
会計監査	2名				
推進委員	20名				
運営委員	70名				
会員	280名				

- 6 クラブ設立年月日
 昭和53年9月 三条コミュニティスクール発足
 平成13年3月 三条スポーツクラブ21設立

- 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備考
70名	芦屋市役所三条分室2階 三条コミスクプレイルーム	運営委員会
20名	芦屋市役所三条分室2階 三条コミスク会議室	推進委員会
年間事業計画、予算、スポーツ保険推進、会員募集、実行委員会 施設利用日程調整、事業実行委員会		

- 8 クラブ名等

クラブ名	会員数(性別、年齢構成)			種目
	280人	男125(人)	女155(人)	
三条スポーツクラブ21	～10歳	60	60	・少年野球 ・バレーボール ・健康体操 ・卓球
	～20歳	15	15	
	～30歳	5	5	
	～40歳	10	10	・ウォーキング ・公式ワナゲ ・ラジオ体操 ・民謡踊り
	～50歳	10	10	
	～60歳	5	5	
	61歳以上	20	50	

- 9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数

兵庫県軟式少年野球審判員 6名、スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格1名 日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員

- 10 実施予定事業内容

実施事業名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数	開催施設
少年野球	定期的練習 及び スポーツの普及 (生涯スポーツの普及)	毎週 土・日	三条スポーツ クラブ 21 会 員	36名	第1グラウンド
卓球		毎週 土曜日		23名	第2体育館
健康体操		月3回 水曜日		26名	三条地区集会所
バレーボール		毎週 土・日曜日		18名	第2体育館
ラジオ体操ラリー	地域交流 多世代交流	夏休みに実施	三条スポーツ クラブ 21 会 員 および 地域住民	1日平均100名	地域内4会場
盆おどり		8月 2回		2回 60名	三条地区集会所
第40回運動会		日時未定		400名	山手中学校グラウンド
初日の出ウォーキング		2020年元日		50名	地域内会下山
公式ワナゲ記録会		2020年2月		20名	三条分室コミスク室
スポーツに挑戦!		未定		20名	第2体育館
広報紙発行		広報・行事告知		年4回	地域全域配布

S C 2 1

潮見

収 支 予 算 書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
助成金	1,428,981	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 1,428,981円)
クラブ財源金	1,850,347	※自主財源 (前年度繰越金 1,850,347円)
年会費	90,000	成人 500円×100=50,000 こども 250円×150=37,500
イベント参加費	20,000	行事参加費用(自主財源)
雑収入	50,000	事業収益金(自主財源)
利 息	20	銀行利息(自主財源) 基金・クラブ
計	3,439,348	(左金額内の自主財源額 2,010,367 円)

2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運動拠点整備費	300,000	管理備品費
消耗品費	40,000	事務用品費用・印刷機マスター、トナー代
諸謝金	30,000	講師謝金
事業費	50,000	スポーツ活動・講習会開催費用 (自主財源より40,000円)
雑 費	10,000	振込手数料 他
通信運搬費	40,000	会員の連絡・運搬費
会議費	10,000	総会・連絡協議会費用
保険料	20,000	スポーツ傷害保険
基 金	968,981	2020年度への繰越金
クラブ積立金	1,970,367	2020年度への繰越金
計	3,439,348	

事業計画書（2019年度）

1. 指定小学校区とその概要（芦屋市立潮見小学校区）

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。

高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が精力的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。

スポーツ活動は団地開設当時から活発で、野球、少年野球、空手等があり、その後コミュニティ・スクールが設置されたこともあり少年サッカー、ミニバスケット、成人サッカー、などが小学校のグラウンドや体育館を中心に活動している。特に、少年野球、少年サッカー、ミニバスケットは芦屋市代表として県大会、近畿大会、全国大会に出場した経歴を有している。

また、当クラブは、スポーツを通じて「多世代の地域住民が交流を図る」「青少年の健全育成を図る」「心身ともに健康で明るい地域社会を目指す」を理念とし、子どもから大人まで地域住民の親睦を深めるのに大いに貢献している。

2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）

芦屋市立潮見小学校 南校舎 3階 芦屋市潮見町1番2号 電話・FAXは未設置
連絡先 芦屋市若葉町6番1-2112号 TEL&FAX. 0797-34-0798

3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校グラウンド及び体育館

4. 上記施設以外の他の連携する施設名

該当なし

5. 運営委員会の構成員とクラブ運営組織図及びクラブ設立年月日

構成員（別紙） 平成13年6月3日（クラブ設立年月日）

6. クラブ育成に向けての年間計画概要（一覧表にて作成）

実施時期	事項	内容等
2019年5月16日	年次総会	事業、決算報告、新年度事業計画、予算案の審議・役員を選出等
毎月第3木曜日	幹事会	クラブ報告、事業計画等の打合せ
年間2回	広報委員会	広報活動の打合せ
随時開催	事業委員会	各事業の企画立案
2019年4・5月	オープンスクール	各クラブによる体験教室を実施
2019年7月21 ～7月31日	ラジオ体操	地域住民の健康維持
2020年2月	スポーツ交流会	スポーツ参加意識向上への内容
その他 8月25日 10月20日	ドラゴンボート大会 予定 健康フェスタ	市民交流スポーツ大会への積極的参加

7. クラブ会員人数（性別、年齢構成）及び予定する種目

ク ラ ブ 名	クラブ会員数（性別、年齢構成）		予定する種目
シーサイド若葉	19～65才（男子）	17	野 球
潮見スターズ	7～12才（男女）	17	少年野球
指導者		10	
たんぼぼ（卓球）	40～70才（男女）	14	卓 球
潮見ミニバスケットクラブ	7～12才（男女）	24	バスケット
指導者		6	
シーサイドバスケット	18～70才（女子）	12	バスケット
潮見少年サッカークラブ	5～12才（男子）	48	サッカー
指導者		15	
潮見フットサルクラブ	20～40才（男子）	6	サッカー
少林寺流錬心館空手	5～60才（男女）	10	空 手
指導者	（男子）	2	
潮見バドミントンクラブ	20～70才（男女）	14	バドミントン
スポンジボールテニスクラブ	20～70才（男女）	20	スポンジテニス
潮見健康体操倶楽部	20才以上（女子）	休部	健康体操全般
金管バンド	6～12才（男女）	15	金管楽器演奏
指導者		4	
和太鼓倶楽部 あしかぜ	40～80才（男女）	11	和太鼓
指導者	（男子）	1	

8. 配置する指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数	指導者の資格名	資格別人数
兵庫県サッカー協会3級審判員	3名	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
兵庫県サッカー協会4級審判員	5名		
兵庫県サッカー協会C級審判員	3名	全日本空手道連盟6段	1名
フットサル審判4級	4名	全日本空手道連盟初段	3名
全国軟式野球連盟公認審判員	3名	全日本空手道連盟弐段	2名
全国軟式野球連盟審判員A級	7名	教員免許	4名
		その他地元有志	数名

9. 実施を予定する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
シーサイド若葉 潮見スターズ たんぼぼ 潮見ミニバスケット シーサイドバスケット 潮見少年サッカー 潮見フットサル 空手クラブ 潮見バドミントンクラブ スポンジテニス 潮見健康体操倶楽部 金管バンド 和太鼓倶楽部あしかぜ	毎週1回以上定期的に練習を行い、専門的知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。 各種の大会等に出場し地域の団結心を強める。 スポーツと文化的活動も含め、スポーツクラブ推進を図る。	週1回 週2回 週1回 週3回 週1回 週4回 週1回 週3回 週1回 週2回 休部中 週3回 週1回	登録者 全員	会員及びビジター	小学校の体育館・グラウンド
地域交流スポーツ大会 各種目別にオープンスクールを開催	年2回 地域全住民を対象として親睦と健康増進 会員増強につなげるため	年2回 年複数回	全住民	300名	グラウンド

S C 2 1

宮川

2019年度 会計予算

(2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

【単位 円】

	項目	予算額	摘要
収 入	前年度繰越金	136,378	
	会費	165,000	一人当たり年間1000円
	備品・機材貸出料	10,000	照明・音響器具貸出料ほか
	雑収入	20,000	印刷代ほか
収入合計		331,378	
支 出	会議・事務費	20,000	用品代ほか
	消耗品費	20,000	備品・消耗品代ほか
	広報誌作成費	10,000	印刷代ほか
	夏祭り費	20,000	備品代ほか
	スポーツフェスティバル費	80,000	備品代ほか
	文化祭費	10,000	備品代ほか
	臨時事業費	10,000	特別事業代ほか
	対外活動費	10,000	参加活動代ほか
	雑費	10,000	
	施設管理費	120,000	修理代ほか
	予備費	21,378	
支出合計		331,378	

2019年度 事業計画

4月20日(土)	定期総会
毎月第3土曜日	幹事会
年1回	『宮川コミスクだより』発行
5月18日(土)	応急手当講習会
7月13日(土)	宮川コミスク夏祭り
10月27日(日)	第31回宮川コミスク国際スポーツ フェスティバル
11月24日(日)	第24回宮川コミスク文化祭
2月15日(土)	スポーツチャレンジ
《対外活動》	
7月27日(土)	芦屋サマーカーニバル
8月 4日(日)	芦屋カップドラゴンボートレース

《対外参加団体》	
「スポーツクラブ21ひょうご」芦屋市連絡協議会	
芦屋市スポーツ推進委員会会議	

S C 2 1

Y A M A T E

収 支 予 算 書

（2019年4月1日～2020年3月31日）

1 収入の部

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
基 金	1,882,268	
自 主 財 源	5,720,139	
会 費	225,000	年会費 500円×450人
運営拠点維持費	30,000	100円×300人
参 加 費	260,000	自主事業参加費
利 息	63	基金通帳利息 13円 クラブ通帳利息 50円
計	8,117,470	

2 支出の部

科 目	予算額	摘 要
運営拠点整備費	100,000	管理備品費 (基金から)
スポーツ用品購入費	250,000	各種スポーツ用品費・修理費 (基金から)
報 奨 費	200,000	指導者謝金・交通費等 (基金から)
運 営 費	200,000	イベント開催費用 (基金から)
傷 害 保 険 料 (役員・指導者)	30,000	スポーツ保険 (基金から)
消 耗 品 費	100,000	スポーツ活動消耗品費 (基金から) 事務用品消耗品費 等
会 議 費	10,000	総会・運営委員会・協議会等 (基金から)
クラブハウス維持費	25,000	光熱費・電話代等 (基金から)
使用料・賃貸料	20,000	スポーツ施設・会議費・用品等 使用料 (基金から)
通 信 運 搬 費	10,000	会員連絡送料等 (基金から)
印 刷 製 本 費	100,000	広報紙・会員証作成費等 (基金から)
基 金	837,268	
自 主 財 源	6,235,202	
計	8,117,470	

事業計画書

1. 芦屋市立山手小学校区

当校区は、芦屋市の中央北部に位置するが、2号線沿いから北は奥池まで広範囲の地域で、商業区域、住居区域を擁している。学校は、創立78年になる伝統校である。

2000年には三条小学校と統合され、新校舎とともに新生山手小学校としてスタートした。

従来、山手地域では、山手コミスクによる秋の運動会などスポーツ活動が恒例行事として活発に行われていたが、阪神淡路大震災以後、住民の減少、さらには校舎立替の時期をはさみ、活動がやや不活発になっていることは否めない。

また、住民の高齢化により、急な坂の途上という学校の立地条件もマイナス要因である。

これら困難な点も、スポーツによる健康増進や3世代の交流の重要性を考え、住民の熱意でクリアできると信じている。

しかし、最近、夜間の体育館使用について、音の問題で地域住民から苦情が出るなど、活動に関して新たな問題が生じている。

2. 活動拠点

芦屋市立山手小学校 西棟3F TEL・FAX 0797-23-1707

<連絡先> 若林 TEL 0797-32-4790 090-6979-7366(携帯)

FAX 0797-32-4798

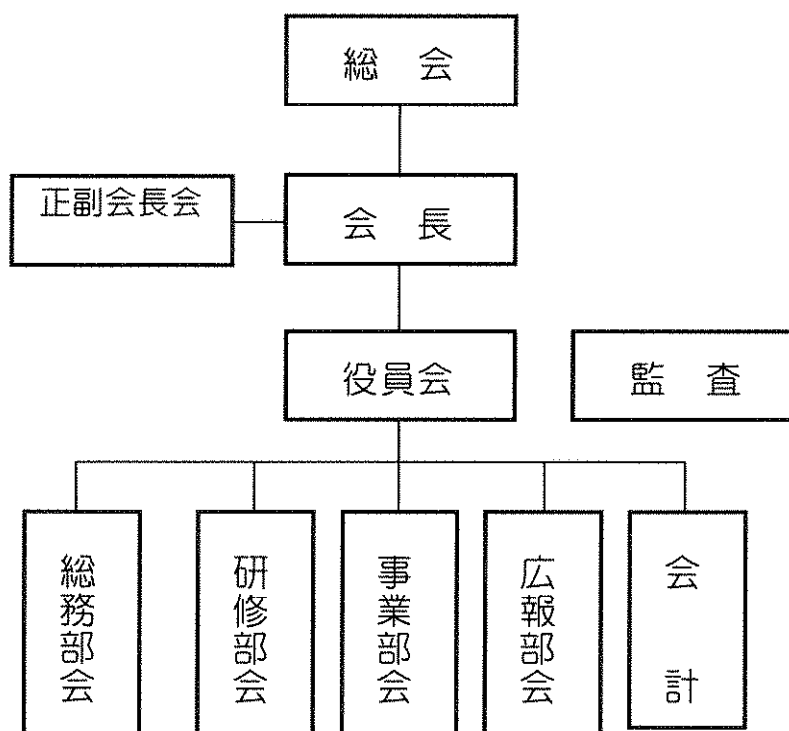
3. 施設名

山手小学校の運動場・体育館・プール など

4. 他の連携する施設名

芦屋市総合運動公園・大原集会所 など

5. 構成員とクラブ運営組織図概要



役職	人数
会長	1
副会長	1
総務部会長	1
事業部会長	1
研修部会長	1
広報部会長	1
会計	1
監査	2

6. クラブ設立年月日 2001年11月26日

7. クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容等
毎月1回程度	常任委員会	○運営委員会議案等の素案 ○クラブ運営の素案 など
毎月1回程度	運営委員会	○プラン運営の素案 ○実施後の反省 ○年間計画の調整・打ち合わせ ○各クラブ活動報告と調整 ○校区内外行事との調整 など
平成30年4月	スポーツフェスタ	クラブ一堂に会し、紹介及び新会員募集
平成30年5月	オープン教室	○各所属クラブ ○新クラブ、及び既存クラブの会員募集のため
平成30年5月	スポーツ大会	ドッジボール
平成30年7月	水泳講習会	講師を招き、水泳講習
平成30年8月	スポーツ大会	ペタンク
平成30年10月	スポーツ大会	卓球 (予定)
平成31年2月	スポーツ大会	カローリング (予定)
年数回程度	研修会	研修会の開催

8. クラブ会員予定人数

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
山手・三条サッカークラブ	50人 (男女対象 小学生～)	サッカー
山手スポーツ空手クラブ	50人 (男女対象 幼稚園～)	空手
山手バスケットボールクラブ	20人 (男女対象 高校生～)	バスケットボール
ミニバスケットボール教室	20人 (男女対象 小学生)	バスケットボール
プレジャーズ	15人 (女性対象 中学生～)	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	20人 (男女対象 小校生～)	クォーターテニス
卓球クラブ	20人 (男女対象 小学生～)	卓球
サリュ! ペタンク	20人 (男女対象 小学生～)	ペタンク
アスリートクラブ	30人 (男女対象 小学生)	陸上
健康体操クラブ	20人 (成人男女)	健康体操
体操クラブ	30人 (男女対象 小学生)	体操
芦屋ベアーズ	30人 (男女対象 小学生)	野球
和太鼓クラブ 山手太鼓	20人(男女対象 小学生)	和太鼓
その他、スポーツイベント毎に(水泳講習会、ドッジボール大会など)で入会を促す。		

9. 配置する指導者

随時、配置の予定

既存クラブの有資格者は、報告書に記載したとおりです。

新クラブを増やす努力をします。 → ノルディック・ウォーキング の立ち上げを考えている
その際、有資格者を講師に当てます。

10. 実施予定事業

実施事業名	目的 及び 活動回数	対象	人数	開催施設
各クラブ活動	技術、専門知識の向上を図り あわせて相互の親睦を深める。 各種大会に出場し、地域の団結心 を高める。 毎週1回～数回の練習	全登録者	10～ 50人	山手小学校 運動場 体育館 集会所
ニュースポーツ 大会	年2回程度 普及と親睦を図る	地域住民	100人	同上
各クラブ大会	クラブ員以外へのオープン体験	地域住民	100人	同上
指導者研修会	知識・技術の向上を図る	指導者	30人	同上
講演会 研修会	知識・技術の向上を図る	地域住民	不特定 多数	山手小学校内 クラブハウス

以上、毎年この時期に山小校区の事業実績と新年度の予定を報告させていただいています。

1年間、携わる方々のボランティア精神と熱意に支えられ、無事乗り越えられたと安堵しています。

しかし、この状態がいつまで続行できるか、一抹の不安を覚えるのも事実です。

何故なら、この組織を支えているのは、地域住民の善意ある人々、特定の人々の協力があってこそ成り立っているという現実があるからです。

個々人は、毎日かなり忙しい日々を送っています。スポーツをする事の大切さ、子どものため、地域の方々のため、また自分自身の健康のため、という事は重々承知ですが、実際、時間をひねり出す事はかなり困難です。

加えて、各地域の事情はかなり違うでしょうが、1クラブを地域の住民だけで組織する事がかなり困難になってはいないでしょうか？ 6年生が卒業してしまうと、在校生だけでチームを組む事が難しくなり、新入部員獲得の努力をするも、1小学校区域では数が足りない状態。近隣の小学校と連携し、1つのチームを組織することは直近の課題になっていると思います。

！スポーツよりも塾！ という考えは、最近の保護者の中では根強いです。

以上、18年間、スポーツクラブ運営に携わらせていただき、時の流れとともに深くなっていった悩みを述べさせていただきました。

他クラブの現状も広く聞き取っていただき、私ども現場で活動しているメンバーに伝えていただきたいと思います。県からの一方的な聞き取りだけでは、片手落ちではないでしょうか？

2019年5月18日

スポーツクラブ 21YAMATE

会長 若林敬子

朝日ヶ丘

S C 2 1

平成31年度 会計予算

平成31年4月1日～令和2年3月31日

1. 収入の部

(単位・円)

科 目	予算額	摘 要
自主財源	4,982,347	前年度繰越金
基金	0	前年度繰越金
会 費	250,000	@1,000×250人
雑収入	20,000	各行事参加費
利 息	200	クラブ通帳
計	5,252,547	

2. 支出の部

(単位・円)

科 目	予算額	摘 要
クラブハウス整備費	100,000	クラブハウス整備費
スポーツ活動費	250,000	各サークル活動推進費
事業費	100,000	イベント事業等
管理費	100,000	管理備品費 印刷機・コピー機リース代等
保険費	10,000	イベント保険費
会議費	25,000	総会・運営委員会等
その他経費	50,000	雑費
自主財源	4,617,547	
基金	0	
計	5,252,547	

※ 参考資料

<会費収入>

年 度	会 費	摘 要
平成25年度	306,000	1,000×301人 500×10人
平成26年度	300,000	1,000×294人 500×12人
平成27年度	283,000	1,000×280人 500×6人
平成28年度	276,500	1,000×269人 500×15人
平成29年度	253,000	1,000×242人 500×22人

平成31年度 事業計画

平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業名	実施予定日	活動内容	対象者	開催施設
運営委員会総会	4月20日(土)	総会	会員	ランチルーム
熱中症予防勉強会	4月20日(土)	資料配布	地域住民	ランチルーム
コミスクDAY	5月19日(日)	サークル体験	地域住民	朝日ヶ丘小学校
朝日ヶ丘小学校運動会	6月1日(土)	サークル紹介	会員	小学校グラウンド
合同部会	6月29日(土) 8月31日(土)	合同会議 会費徴収他	会員	ランチルーム
プール利用補助事業	7月1日～8月31日 土日祝除く	プール利用券配布	会員	朝日ヶ丘公園プール
夏まつり	7月21日(日)	3世代交流	地域住民	朝日ヶ丘小学校
もちつき大会	12月1日(日)	3世代交流	地域住民	校舎中庭前
公式ワナゲ体験会・大会	2月1日(土)	3世代交流	地域住民	ランチルーム
オープンスクール	随時	体験及び入会促進	地域住民	小学校グラウンド 体育館
各サークル活動	毎週	専門種目の 年間定例活動	会員約250名	小学校グラウンド 体育館 ゆうゆう倶楽部 幼稚園
幹事会	定例	総会準備・活動計画 クラブ間調整		会議室
運営委員会	随時	オープン教室開催促進 及び調整	役員 運営委員	会議室
広報紙	年2回	イベント案内 情報・会員募集	地域住民	全地域
体育館清掃	年1回	清掃	幹事, 会員	小学校体育館
研修	随時	スポーツ研修	指導者	

S C 2 1

打出浜

2019年度スポーツクラブ21 収支予算書

2019年4月1日～2020年3月31日

1 収入の部

(単位:円)

科 目	前年度決算額	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	2,597,455	2,695,253	
会費	223,000	250,000	年会費 1,000円×250名
イベント参加料	87,900	100,000	ファンラン
利息	23	15	預金利息
雑収入	11,000	50,000	ファンラン物販売他
計	2,919,378	3,095,268	

2 支出の部

科 目	前年度決算額	予 算 額	摘 要
スポーツ活動費	24,300	200,000	ラインパウダー・デジタイマー購入
事業費	122,683	300,000	ファンラン・秋まつり他
広報活動費	9730	30,000	広報誌印刷代他
会議費	34,000	40,000	打合せ等経費
事務管理費	28,228	40,000	文具・消耗品他
整備費	4,320	100,000	整備費・備品修繕費他
雑費	864	3,000	振り込み手数料他
次年度繰越金	2,695,253	2,382,268	
計	2,919,378	3,095,268	

2019年度 事業計画書

2019年4月1日～2020年3月31日

活動日	名称	活動場所	参加人数	内容及び事業効果
2019年 5月18日	総会	クラブハウス	60名 新・旧	事業・決算報告及び事業計画 予算承認・役員改選
毎月1回	幹事会	クラブハウス	35名	活動企画の承認・事業企画立案
2019年 6月15日	救命救急講習会	クラブハウス	20名	アクシデントに対する基礎知識の 体得
2019年 8月25日	芦屋ドラゴンボート レース大会に参加	芦屋キャナル パーク	20名	普段の活動とは違うスポーツに参 加して団結力を養う
2019年 10月	打出浜コミスク 秋祭り共催	体育館	200名	スポーツに親しみを持つよう出店 フリースローゲーム
2019年 10月14日	市民スポーツ フェスタに参加	芦屋ペデスト リアンデッキ	20名	「スポーツに親しみを」の企画に 参加
2019年 11月	打出浜ファンラン 2019	運動場～芦屋 市マラソン コース	170名	地域住民が持続的にスポーツに 関わるきっかけ作り
2020年 1月	コミスク3世代交流 スポーツ大会共催	体育館	110名	地域住民3世代がクロリティーを 通し交流を図る
2020年 1月	新年互礼会	割烹音羽	40名	各クラブと地域役員の親睦
2020年 2月	スポーツクラブ21・ コミスク活動展	体育館・ 通路の壁	17登録 団体	各クラブの活動紹介を紙面で展示

岩園

S C 2 1

収 支 予 算 書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
助 成 金	5,046,524 円	市推進委員会事務局より 前年度基金残
自主財源積立金	4,968,091 円	前年度積立金残
会 費	190,000 円	年会費：@200 円×500 人 活動拠点維持費：@300 円×300 人
雑 収 入	100,000 円	講座参加費、広報広告料、 印刷機使用料 等
銀 行 利 息	0 円	
計	10,304,615 円	(左欄金額内の自主財源額： 4,968,091 円)

2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	1,000,000 円	管理整備費
スポーツ用品 購入・修理費	500,000 円	各種スポーツ用品費・修理費
事 業 費	220,000 円	スポーツ大会、講師謝金 等
運 営 費	50,000 円	事務・会議費、通信費、研修費 等
広 報 活 動 費	70,000 円	広報紙発行(6000部/1回)を 年2回発行、記録写真 等
基 金	8,464,615 円	基金積立、自主財源積立
計	10,304,615 円	(左欄金額内の自主財源額： 4,968,091 円)

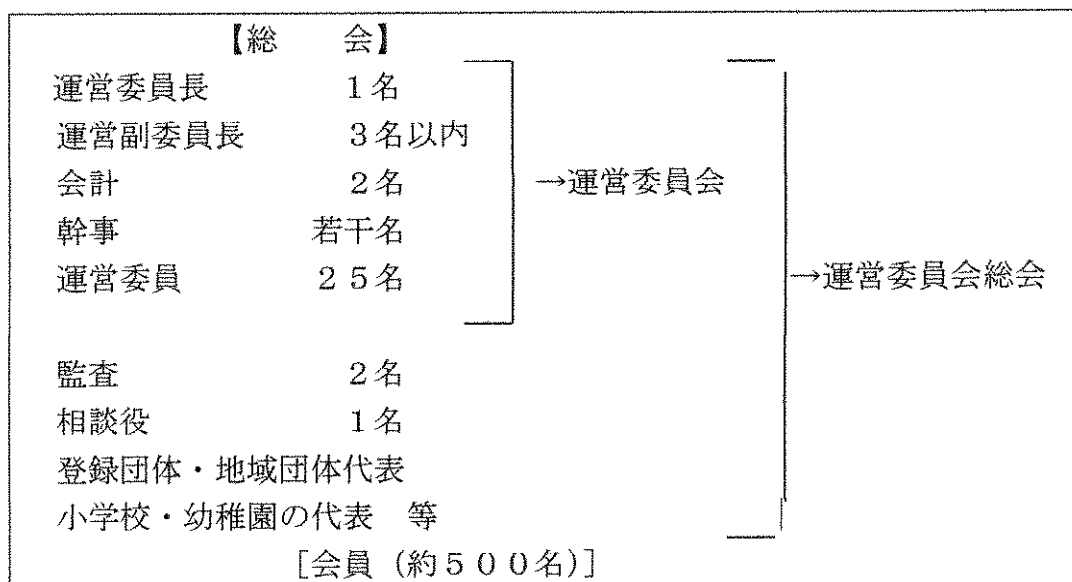
(注) 収支の計は、それぞれ一致する。

付記 専門種目の定例サークル活動参加者は、上記の『会費』の他に、サークル毎に規定の会費(スポーツ保険費用を含む)を納め、それによりサークル活動は、自主運営されます。その会費は、サークル内責任者によって管理されます。

岩園スポーツクラブ21

事業計画書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

- 1 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所
芦屋市立岩園小学校内 岩園コミュニティ・スクール事務室
[住 所] 芦屋市岩園町23-41
[連絡先] 芦屋市岩園町26-5 (Tel&Fax0797-38-5792)
- 3 スポーツ活動を行う施設名とその概要 (参考資料添付)
芦屋市立岩園小学校 グランド 及び 体育館
- 4 上記以外の他の連携する施設名
芦屋市立岩園幼稚園
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要



- 6 クラブ設立年月日 平成14年11月21日

7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項・内容等	
毎月1回程度	運営委員会	クラブ運営全般
平成31年4月18日	運営委員会総会	平成30年度事業及び決算報告 平成31年度事業計画、予算案の 審議・承認、役員の選出等
2020年4月1日	監査	会計監査

8 クラブ会員予定人数（年齢構成）及び 予定する種目

クラブ名	クラブ会員数	予定する種目
岩園スポーツクラブ21	0才～10才（200名）	テニス・健康体操・剣道
	11才～20才（60名）	卓球・空手・サッカー
	21才～30才（10名）	少年少女野球・婦人バレ
	31才～40才（30名）	ー・バスケット・ミニバ
	41才～50才（50名）	スケット・クォーターテ
	51才～60才（50名）	ニス・日舞・囲碁・ダン
	61才以上（100名）	ス・(水泳)・協力会員

9 配置する指導者の資格と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
健康運動指導士	1名
公認体力テスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 八段	1名
剣道錬士 七段	2名
剣道錬士 五段	1名
全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認D級指導員	1名
兵庫県サッカー協会3級審判員	1名
兵庫県サッカー協会4級審判員	1名
キッズリーダー	1名

兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	6名
日本体育協会公認B級指導員(バレーボール)	1名
JBA 公認 E-1 級	2名
日本棋院学校囲碁指導員	3名
日舞林流師範	2名
日本書学館指導者	1名
地元有志	15名

10 実施を予定する事業内容

専門種目のサークル活動	開催回数・活動日	対象者	参加人数	開催施設
テニス	週1回 (日)	会 員	22名	グラウンド
健康体操	週1回 (水)	会 員	23名	岩園幼遊戯室
剣道	週3回 (日・月・木)	会 員	26名	体育館
卓球	週1回 (土)	会 員	15名	体育館
空手	週1回 (金)	会 員	20名	体育館
少年少女サッカー	週2回 (日・火)	会 員	56名	グラウンド
少年少女野球	週1回 (土)	会 員	48名	グラウンド
婦人バレーボール	週1回 (土)	会 員	13名	体育館
バスケット	週1回 (日)	会 員	26名	体育館
ミニバスケット	週3回 (火・金・土)	会 員	54名	体育館
クォーターテニス	週2回 (水・土)	会 員	23名	体育館
ダンス	月2回 (第2・第4木)	会 員	16名	体育館
日舞	月1回 (第4火)	会 員	19名	コミスク室 (クラブハウス)
囲碁	週1回 (木)	会 員	14名	ミーティング室
書道教室(6月開設予定)	月3回 (第1・第2・第4火)	会 員		ミーティング室

- 上記種目のサークルは、週1～3回、定期的な練習を行い、専門的知識及び技術の習得にあたっています。
- 参加人数は、参考人数として前年度の登録人数を記載。
今年度は現在募集中です。
- 「する・見る・支える」それぞれの立場から会員を募っていますので、子ども育成のための指導者・世話役等も含まれています。

実施事業名	ねらい等	開催回数・日時	対象者	参加人数	開催施設
オープン・スクール	専門種目の一日体験入門講座	上記サークルが年1～2回開催	地域住民	延べ100名程度	グラウンド 体育館等
救急蘇生法講習会		2019年 6月下旬	会員 地域住民	40～50名	コミスク室 (クラブハウス)
夏休みプール開放	○児童を対象とした水泳教室 ○サークル開放	2019年 7月下旬	小学生会員	水泳教室は、1日あたり80名程度	岩小プール
いわぞの秋祭り	○地域交流事業の中でSC21活動のPR ○スポーツサークルの発表&体験コーナー	2019年 10月20日	会員 地域住民	1,000名	グラウンド
多世代交流スポーツ大会	会員と地域住民交流のためのスポーツ大会	2019年 12月初旬	会員 地域住民	100名	体育館 又は グラウンド
ふれあい広場 いわぞの活動展	「岩園 SC21」活動の展示発表と啓蒙	2020年 1月下旬	会員 地域住民		校舎2F ラウンジ
ニュースポーツ体験会	活動展開催時に体験コーナーを設ける				校舎2F テラス
1.17は 忘れない 地域防災訓練	学校・地域等と連携しての防災訓練	2020年 2月中旬	会員 地域住民		校区及び 岩小
クリーン作戦	卒業式前に、いつも使用している学校施設を一斉清掃	2020年 2月22日	会員 地域住民	200名	体育館棟 校舎、校庭、 正門周辺等
広報活動	地域に幅広くクラブへの参加を呼び掛けるため広報紙や行事案内チラシ・ポスター作成 配布・掲示	○広報紙は、7月と3月に地域全世帯に会員が配布。 (6000部/1回) ○サークル会員募集一覧を2回/年配布 ○チラシ・ポスターは必要に応じ、配布・掲示			

S C 2 1

精道

別記(準用)

(クラブ名)スポーツクラブ21精道

収支予算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	3,415,499円	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 3,415,499円)
クラブ財源金	2,211,898円	※自主財源 前年度繰越金
年会費	50,000円	※自主財源 200円×250人分
活動費	30,000円	※自主財源 事業参加費
使用料	100,000円	※自主財源 印刷機使用料
雑収入	5,000円	※自主財源 預金利息等
計	5,812,397円	(左金額内の自主財源額 2,396,898円)

2 支出の部

科目	予算額	摘要
拠点整備費	300,000円	*自主財源 0円 施設整備費
運営費	320,000円	*自主財源 20,000円 夏祭り、啓発事業等
備品費	300,000円	*自主財源 0円 備品購入費
諸謝金	300,000円	*自主財源 0円 講師謝金等
事務管理費	120,000円	*自主財源 20,000円 会議費等
消耗品費	110,000円	*自主財源 10,000円 消耗品費
印刷製本費	100,000円	*自主財源 0円 広報誌等印刷費
自主財源	2,346,898円	次年度繰越金
基金	1,915,499円	次年度繰越金
計	5,812,397円	

事業計画書

- 1 指定小学校区
精道小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）
芦屋市精道町8-25 芦屋市立精道小学校内
精道コミュニティースクール・スポーツクラブ21事務室
連絡先 國廣 正則（自宅）〔TEL/FAX 0797-35-5355〕
- 3 スポーツ活動を行う施設名
精道小学校 グランド・体育館・ランチルーム
- 4 上記施設以外に連携する施設名
なし
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図
スポーツクラブ21精道

会長	1人	登録団体	
副会長	1人	団体	7
会計	2人		(240人)
理事	若干名	個人会員	
監事	2人		(10人)
(役員会)		(代議員総会)	

250人（31年度会員）

- 6 クラブ設立年月日
平成15年11月6日（設立総会 平成16年1月31日）
- 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備 考
12人	精道小学校内コミスク・スポーツクラブ21事務室	
(委員会の主な内容) ・平成31年度実施事業の内容検討 ・スポーツクラブ21精道の運営方針の検討 ・令和2年度総会準備		

- 8 クラブ名、会員数（性別、年齢構成）及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）	活動種目
スポーツクラブ21精道 (愛称：ブルーパイン)	会員数250人（男150人・女100人） 小学生以下 120人 中高校生 30人 成人 100人	野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・なわとび・バスケットボール・空手・

9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数 ※できるだけ詳しく記入する。

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人

10 実施する事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
スポーツ啓発活動の実施	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しみを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	年1回～2回	会員 地域住民	1回30人	体育館 運動場
専門部活動の実施	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。 各種の大会等に参加する。	毎日（活動日）	会員	240人	体育館 運動場
コミスク活動への参加	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	年2回 夏祭り・精道フェスティバル	地域住民	1,000人	運動場 体育館
広報活動	年2回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。		地域住民	5,500世帯	

浜風

S C 2 1

別 記

クラブ名 浜風スポーツクラブ21

平成31年・令和元年予算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
基 金	176,368 円	前年度繰越金
自 主 財 源	627,501	前年度繰越金
会 費	40,000	年会費200円×200人
傷害保険料	0	
利 息	10	基金通帳・自主財源通帳
計	843,879	

2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運営拠点(クラブハウス) 整備費	30,000 円	クラブハウス整備・修繕
消 耗 品 費	5,000	消耗品
諸 謝 金	35,000	護身術、体育教室など指導者謝金
事 務 管 理 費	1,368	事務用品、通信費、振込み手数料など
クラブハウス 維持費	0	光熱水費、電話代等
運 営 費	30,000	地域交流事業など運営経費、会議費、会費、
備 品 費	25,000	各種スポーツ用具購入など
印刷製本費	50,000	広報誌、用紙、トナー、マスター、インク代等
基 金	0	次年度繰越金
自主財源	667,511	次年度繰越金
計	843,879	

平成31年・令和元年度事業計画書

1、指定小学校区

芦屋市立浜風小学校区

2、活動拠点となるクラブハウス設置場所

芦屋市浜風町1-1 浜風市立浜風小学校体育館の北側の部屋

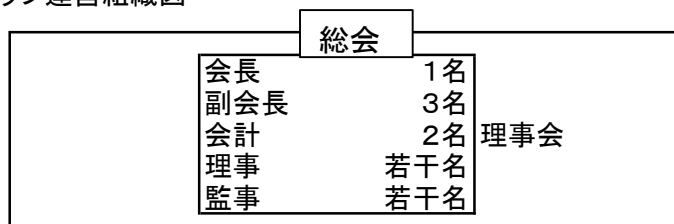
3、スポーツ活動を行う施設名

浜風小学校グラウンド・体育館・会議室・ランチルーム・更衣室

4、上記施設以外に連携した施設名

芦屋市立青少年センター体育館・川西グラウンド・新浜公園

5、運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図



6、クラブ設立年月日

平成15年12月18日

7、運営委員会などの開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
30	12回	26人	会議室	理事会
会員募集、事業計画、会計、施設使用調整、購入備品、保険について検討 クラブ間、地域団体との情報交換、連絡調整など スポーツイベントなどの企画				

8、クラブ名、会員数及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数		活動種目	
浜風スポーツクラブ21	188人(男性 122人, 女性 66人)		少年少女野球、ゲートボール	
	~10歳	18	12	成人ソフトボール、空手、気功
	~20歳	5	2	カローリング、フットサル、
	~30歳	16	1	ママさんバレーボール、
	~40歳	9	8	少年少女サッカー
	~50歳	17	11	スポンジボールテニス
	61歳~	16	16	ミニバスケットボール
	61歳~	11	16	

9、配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
サッカーC級ライセンス	2
サッカー審判4級	4
フットサル審判3級	2
兵庫県ソフトボール協会指導員	1
少林寺流空手道連盟錬心士6段教士	1
同 2段指導員	1
剛心流空手道松剛館指導室2段	2
同 4段	1
日本健身気功協会指導員	1
県公認バレーボール審判	4
地域指導員	28

10, 実施予定事業内容

実施事業名	開催回数・日数	ねらいなど	対象者	参加者数	開催場所
各クラブ活動	週1～4日	スポーツ活動	会員	200	グラウンド、体育館
プール開放	7月	地域交流	地域住民	200	プール
ラジオ体操	7/21～8/12	健康増進	地域住民	延べ1000	グラウンド
空手道護身術講習会	秋ごろ	護身術体験	地域住民	50	体育館
交流スポーツ大会	4月27日	ウォークラリー チャレンジゲーム バーベキュー	地域住民	300	グラウンド・体育館
芦屋浜夏祭り参加	8月3日	地域交流	地域住民	—	中央公園
サマーカーニバル協力	7月27日	地域交流	地域住民	—	総合公園周辺
ドラゴンボート大会参加・協力	未定	地域交流	地域住民	—	キャナルパーク
広報誌発行	年2回	広報活動	地域住民	3500	全戸配布
地域防災訓練協力	未定	地域交流・防災	地域住民	500	芦屋市内
ハロウィン大会		地域交流	地域住民	200	浜風小学校
浜風小学校清掃	未定	清掃	会員	100	浜風小学校
各種体験教室	随時	体験	地域住民		グラウンド、体育館